

事業報告書

平成29年度

社会福祉法人 清風会

事業報告書 目次

1. 法人全般について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1～2
2. 特別養護老人ホーム（従来型）
 - ◎部門別報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3～4
 - ◎ベッド利用実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
3. 短期入所事業（従来型）
 - ◎ベッド利用実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
4. 特別養護老人ホーム（ユニット型）
 - ◎部門別報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
 - ◎ベッド利用実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
5. 津奈木町デイサービスセンター
 - ◎部門別報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
 - ◎利用実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
 - ◎行事報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
6. 調理栄養部事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
7. 介護福祉サービスセンター（居宅介護支援事業）
 - ◎事業報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
 - ◎利用実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
8. グループホーム
 - ◎部門別報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
 - ◎ベッド利用実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
9. 各種施設運営管理計画、研修計画書・・・・・・ 17

平成29年度 事業報告

社会福祉法人 清風会

あけぼの苑

【実施事業】

- * 特別養護老人ホーム（従来型）
- * 特別養護老人ホーム（ユニット型）
- * 短期入所生活介護事業（ショートステイ）
- * 通所介護事業（デイサービス）
- * 居宅介護支援事業
- * 認知症対応型共同生活介護事業（グループホーム）

1. 全般について

「地域福祉の拠点となって」「その人がその人らしく生きるために」「喜び、安らぎ、生きがいをもたらす」の法人理念に基づき、事業の健全な運営を図るよう努めた。また、社会資源としての自覚を持ち、多様なサービスを提供し、住み慣れた生活を続けるための支援を行い、真の利用者ニーズの把握に努め、対応できる質の高いサービス提供に努めた。

また、2025年に向けた地域包括ケアシステムの構築に伴い、地域に密着した地域貢献活動として、地域の福祉活動等への参加を行った。その他、設備等の維持管理、感染症及び食中毒防止、危険防止、身体拘束廃止、環境美化、地域貢献推進について各委員会を定期的に開催し、サービスの向上を図った。

2. 職員の勤務条件の改善と資質の向上

- ① 職員の給与体系については、定期的な昇給を行い、また、介護職員処遇改善加算を算定し、介護職員に支給した。
- ② 職員の質の向上を目的として、年間研修計画に基づき、苑内での研修会を年間10回実施した。また、苑外での外部研修についても階層別に派遣し、その報告の場をつくり研修成果を反映できるよう努めた。介護福祉士の喀痰吸引研修についても対象者を計画的に派遣し、登録事務まで行った。
- ③ 労働環境の検証として、各事業所ごとに24時間体制での勤務時間割りや、勤務パターン、業務内容や手順等について業務改善会議を開催し、働きやすい職場づくりに努めた。また、芦北高校福祉科からの新規採用を計画的に行い、人材の確保に努めた。

3. 固定資産の取得及び物品の購入

その他の固定資産

- | | |
|---------------------|----|
| ① 車椅子用軽自動車（グループホーム） | 1台 |
| ② 車椅子用体重計（通所介護） | 1台 |
| ③ 業務用衣類乾燥機（特養） | 1台 |
| ④ 心電計（よらんかな） | 1台 |

4. 施設運営の合理化について

- ① 各職機関との連絡を充実させ、また管理者及び責任者等の指示、指導を徹底させることで施設運営の円滑化が図られ、日常の介護業務、グループワーク、利用者の健康管理、給食内容の向上等に努力した。
- ② 会計の決算については別紙のとおりであるが、全体の資産状況については、資産額 1,255,087,955 円、負債額 17,922,836 円、純財産額 1,237,165,119 円となった。

5. 防火体制の充実強化について

- ① 消防機関はもとより、役場、地域住民等とも日常の連絡を密にし、施設の構造、入居者の実態を認識してもらうよう努めるとともに、避難、消火、避難後の援護等が円滑に行える協力体制を図った。また、熊本地震により被災した施設の例を教訓に設置した防災対策委員会を開催し、地震、風水害、土砂災害についての対策も検討した。
- ② 消防計画書をもとに、年2回総合防災訓練を実施し、消防署の指導を受けた。
- ③ 行政の防火設備改善指導については、管理業者と点検契約を締結し、年2回の定期点検を実施し、常時防火設備の保全と避難誘導経路の確保に努めた。また、消防法改正による自動火災通報装置の設備改修を行い、法に沿った体制を整備した。

1. 【生活相談員・介護支援専門員業務】

- ① 今年度の退所者7名、退所者の内訳として医療機関入院後死亡3名、施設での死亡者4名であった。終末期ケアにおいては、ファミリールームの活用を含めた施設での穏やかな看取りと最後は家族の見守る中で生涯を終えられるよう努めた。また、入所にあたっては要介護2（特例入所）が1名、要介護3が2名、要介護4が4名の新規入所者を受け入れた。
- ② 地域住民との関わりを保つ為、第2回秋祭りを地域交流館で開催した。生憎の雨にもかかわらず、ご家族や地域住民の参加があり、盛会に終わった。また、誕生月に家族を招いて昼食会や敬老会等行い、家族との絆を保つよう努めた。
- ③ 職員の資質向上、専門性を高めるため、各事業所からの取組状況の事例発表を例年どおり実施した。また、年間の苑内研修計画に沿って研修会を行った。特に認知症研修においては3年未満の職員を対象に基礎研修、3年以上の職員を対象に実務者研修を行い、基礎的学習、専門的グループ演習、模擬体験に力を入れた。
- ④ 施設サービス計画書作成については、情報の共有と多職種連携により、24Hシートに基づいたきめ細やかな個別ケア計画に努めた。また、定期的にモニタリングを行い、利用者自身が今の生活やサービス計画の提供状況に対して目標へ近づいて、生活の質が向上しているのか職員全員で検討を行った。

2. 【介護業務】

「自分が入所したいと思う施設づくり」の理念をもとに、排泄、入浴、食事の各委員会を毎月開催し、利用者と家族が安心して楽しく生活できるような個別ケアに努めた。

- ① 利用者の立場に立ち、利用者及び家族の意見を尊重した介護計画を作成し、思いやりの心をもってケアを行った。
- ② 利用者との関りや会話の中から、「利用者の願い」を聞き出し、個別に叶えられるように努めた。
- ③ 認知症の症状を理解し、対応の在り方について勉強会を開催したり、ミーティングやケア会議などで検討したが、周辺症状の緩和までに至らないケースもあった。また、職員の理解や対応にも個人差があった。
- ④ 職員のスキルアップを図るため、毎月勉強会を開催し、質の向上に努めた。
- ⑤ 看取りケアについては、新たに設置したファミリールームを活用しながら、利用者及び家族の身体的・精神的不安を職員が汲みながら緩和し、最期まで穏やかに過ごして頂けるように看護と介護が連携を図りケアすることができた。
- ⑥ 職員間のコミュニケーションがうまくいかないときもあったが、スムーズな業務遂行に問題はなかった。また、多職種との連携は図れていた。
- ⑦ 3月に1度のお便りや面会時に利用者の近況を伝え、その他随時電話等で伝えるなど家族との信頼関係も築くことができた。

3. 【医療業務】

- ① 今年度は皮膚剥離や転倒などの事故は少なかったが、誤薬事故やヒヤリハットの報告が多

かった。

- ② 感染症については、秋祭り後のインフルエンザ感染が利用者と職員に多くみられたが、ノロウイルス等の感染はなかった。
- ③ 施設での看取りについては、3名の方が家族の見守られる中穏やかに終期を迎えられた。家族との信頼関係があり、家族も満足されていた。

平成29年度 特養(従来型)利用実績

要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
	延べ人数	延べ人数	延べ人数	延べ人数	延べ人数	
4月	0	120	266	300	330	1,016
5月	0	124	304	309	341	1,078
6月	0	120	266	259	330	975
7月	0	124	292	278	341	1,035
8月	0	124	243	326	372	1,065
9月	0	90	247	330	353	1,020
10月	0	120	276	341	341	1,078
11月	0	90	282	311	330	1,013
12月	0	93	285	341	341	1,060
1月	0	60	339	341	319	1,059
2月	0	56	277	280	360	973
3月	0	62	276	310	423	1,071
合計	0	1,183	3,353	3,726	4,181	12,443

稼働率 : 97.4%

平成 29 年度 ショートステイ年間利用実績

要介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	稼働率
	延べ人数	延べ人数	延べ人数	延べ人数	延べ人数	延べ人数	延べ人数		
4月	0	2	90	72	50	41	11	266	80.6%
5月	0	13	64	85	59	48	0	269	78.8%
6月	0	11	57	54	83	29	0	234	70.9%
7月	0	23	53	42	69	50	0	237	69.5%
8月	2	12	62	71	71	48	2	268	78.6%
9月	2	11	66	61	65	55	0	260	78.8%
10月	0	11	76	57	59	35	0	238	69.8%
11月	2	14	49	49	44	74	0	232	70.3%
12月	2	14	68	60	41	45	0	230	67.4%
1月	2	7	69	83	43	55	0	259	76.0%
2月	2	7	61	88	37	70	0	265	86.0%
3月	1	13	78	41	45	74	6	258	75.7%
合計	13	138	793	763	666	624	19	3016	75.1%

稼働率 75.1%

平成29年度事業報告

ユニット よらんかな

(生活相談員部門)

29年度は、自宅1名・看取り3名・入院3名の合計7名の退居があった。看取りを行ったご家族より「本人の意向に沿う事ができ、満足です」との言葉を頂いた。入居者では加療の為延べ15名の入院があり、原因としては持病の悪化を始め食欲不振や転倒による骨折などであった。これを踏まえ、各職種が連携し入居者の心身の異常を早期に発見し早期に対応する体制をこれまでよりさらに強化することで、予防医療の充実化を図り、住み慣れた環境でその人らしい生活の充実ができるよう努めていきたい。

また、研修会への参加促進や自主勉強会を開催し、入居者一人一人に合ったケアを、自分で考えながらできる職員となるよう職員の質の向上にも力を入れていきたい。

(介護支援専門員部門)

入居者・家族の望む暮らし・自立支援等を考えながら計画書を作る事ができたが、ケアチェック、モニタリング、ADL状況等、ケアプラン評価等の記録が不十分で次のプランへ移行する根拠となる所を明確に記録しておくことができなかった。

ターミナルケアにおいては、家族からの希望を引き出すことができず計画書に反映できなかったように感じた。今後のより良いターミナルケアの為のデスカンファレンスが開催できるよう働きかけていきたい。

(看護部門)

3ユニット30名の健康管理を日々行っているが、高齢化が進み基礎疾患の悪化や肺炎、食欲低下、骨折などで入院加療を行う方が年々増加傾向にある。今まで以上に多職種と連携し、疾病の悪化や事故防止に努めたい。

また29年度冬季にはインフルエンザA型B型が連続で流行し、入居者9名、職員11名が発症し、ユニット内で感染が拡大した。流行時期には職員1人1人の感染予防に対する知識向上が必要であり、引き続き感染委員を中心に周知徹底に努めたい。

(介護部門)

利用者一人一人の思い・生活・好み（食事・入浴・外出）を毎月の各ユニットのミーティングや24時間シートの見直し、ケア会議を行う事で全職種が把握し、利用者の日々の生活が自宅から継続したものとなるよう努めた。年間行事も多く計画し、これまで外出が困難な利用者の方に苑内・外での活動に参加して頂くことで、四季折々の楽しみを持って頂いた。ターミナルケアを実施したが、他職種と連携しながら状態を把握し、3ユニットのスタッフが訪室する時間を持ち、入居者・ご家族に安心して過ごして頂けるよう努めた。スタッフの勉強会が実行できなかった為、次年度は6月（介護技術）、10月（接遇）・2月（事例検討）に行う事とし、職員の質の向上に繋がる勉強会を行い日々の業務に活かし、入居者の生活がより良いものとなるよう努めていきたい。

平成29年度 よらんかな利用人員 (増減) (実人員)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	1	3	9(-1)	9	7	29
5月	1	3	10(+1)	9	7	30
6月	1	3	10	9	7	30
7月	1	3	10(-1)	8	8	30
8月	1	3	9	11(+1)	6	30
9月	1	2	9	12	6	30
10月	1	2	8	12	6(-1)	29
11月	1	2	9	12	5	29
12月	1	2	9(+1)	12	6	30
1月	1	2	9(-1)	12	6	30
2月	0	3	6	13(-1.+1)	8	30
3月	0	3	7(+1)	12(-1)	8(-1)	30

(延べ人員)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	
4月	30	90	265	270	210	865	96%
5月	31	72	308	279	217	907	98%
6月	30	90	300	256	210	886	98%
7月	31	93	297	248	248	917	99%
8月	31	93	276	321	170	891	96%
9月	30	60	237	360	180	867	96%
10月	31	62	200	357	169	819	88%
11月	30	60	220	355	150	815	91%
12月	31	62	254	372	168	887	95%
1月	31	62	279	351	186	909	98%
2月	0	84	168	343	224	819	98%
3月	0	93	198	328	233	852	92%
合計	306	921	3002	3840	2365	10434	95%

新規入居5名、退所7名、利用人員35名、入院(延)15名 延べ日数 10,434日 稼働率 95 %

平成29年度 通所サービス実績報告

津奈木町デイサービスセンター あけぼの苑

1、年間稼働日数 306 日稼働

2、一日平均稼働数 20、77 人 / 日

3、利用実数(年間延べ人員)

	特定高齢	要支援1	要支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
平成28年度	244	645	821	2,756	1,437	771	317	141	7,132
平成29年度	0	584	955	2,267	1,319	480	511	232	6,356
前年比	0	0、91	1、16	0、82	0、92	0、62	1、61	1、65	0、89

4、介護度別利用割合(%)

	特定高齢	要支援1	要支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5
平成28年度	3、4	9、0	11、5	38、6	20、2	10、8	4、5	2、0
平成29年度	0	9、2	15、1	35、7	20、9	7、4	8、0	3、7

5、計画

介護保険部門

- ・利用者のレベルの範囲が広がってきてはいるものの、お互いに協力し合い楽しんで過ごして頂けている。
- ・サービスの複数回利用により、状態の安定が保てている事例が多く観られている。
- ・重度化により見守り、介護負担の増加が観られるが安全に配慮している。
- ・体調、認知症の進行も緩やかで笑顔も多く楽しみながら利用して頂けている。
- ・活動参加することで以前よりも生きがいを持って生活が出来るように促している。

総合事業部門

- ・特定高齢の方の申請により支援への認定が増えたが介護への移行多くなってきている。
- ・利用継続促せ、運動や活動参加により、生活意欲の向上、残存機能を維持して頂けている。
- ・生きがい活動を取り入れることで意欲の向上、楽しみを持ってサービス利用して頂けた。

6、まとめ

- ・要介護者の複数回利用が増加するにあたり、入院や死亡による利用者数の増減が激しくなっている。
- ・複数回利用により機能が向上され、支援になられるため利用回数が減少する事で、再度介護になられる現象がある。
- ・楽しみながら体操意欲の向上、参加の継続によりADLの維持、向上を図る事が出来た。
- ・少数での活動として、菜園クラブを初め、ご利用者が楽しみながらの日常生活動作訓練に繋がっている。
- ・他事業所、関係機関と連携することで病状、身体異常に早期発見や利用者の状況に合わせた対応が出来た。
- ・緊急対応が必要なことが多く日頃より対応周知していたためにスムーズに行動、対応出来ていた。

平成29年度通所介護事業利用実績（予防給付者含む）

【利用実人員】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	11	10	10	9	9	8	10	12	9	10	10	11	119
要支援2	17	18	16	14	12	13	13	12	12	11	13	13	164
合計	28	28	26	23	21	21	23	24	21	21	23	24	283
要介護1	29	28	24	25	23	25	25	22	24	26	22	26	299
要介護2	13	11	12	12	11	12	16	14	12	11	14	13	151
要介護3	6	8	10	9	7	6	5	4	3	3	3	3	67
要介護4	4	3	4	6	8	7	8	7	5	4	4	4	64
要介護5	1	1	2	2	2	3	2	2	1	2	2	2	22
合計	53	51	52	54	51	53	56	49	45	46	45	48	603

【利用延べ人員】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	56	57	44	49	46	44	47	48	49	47	48	49	584
要支援2	95	107	84	76	64	81	76	51	76	70	80	95	955
合計	151	164	128	125	110	125	123	99	125	117	128	154	1,549
要介護1	219	241	210	209	191	190	193	141	172	170	147	184	2,267
要介護2	111	112	112	119	91	100	127	103	113	90	117	124	1,319
要介護3	49	69	70	73	64	48	32	21	17	12	15	10	480
要介護4	23	20	22	34	74	59	68	53	51	37	30	40	511
要介護5	10	9	23	25	24	26	23	17	13	19	22	21	232
合計	412	451	437	460	444	423	443	333	366	328	331	379	4807
入浴介助者 (介護保険者)	340	381	383	385	387	356	387	299	316	287	277	311	4,109
食事提供	550	605	549	528	537	530	550	422	491	435	443	517	6,157

平成 29 年度 事業報告書

あけぼの苑
調理・栄養

〈目標〉

健康維持・増進、疾病予防のほかに、過剰摂取による健康障害を予防し、活力ある生活を送るため利用者に食の楽しみの提供、また個々人に合った食事の提供に努めることができた。

〈計画・新規事業報告〉

1.非常災害時の対応

非常用食品の管理はできたが、自然災害等により通常の食事提供が困難となった場合に備え、非常用食品の運搬、食事の提供がスムーズに行えるよう、職員の業務分担を明確にすることはできなかった。また、不足分の補充はできなかった。

2.嚥下対応食への取り組み

利用者が重度化する傾向がある中で、食事を楽しむという視点を重視し、最後まで口から食べる楽しみのある生活を送って頂くため、口から食べる支援として、ムース食の利用、ゼリー食など、嚥下対応食への取り組みに努めることができた。

3.適温での食事の提供

食事をおいしく食べて頂くため、調理業務等の見直しを行い、適温での食事の提供が行えるよう努めた。

〈継続事業報告〉

- 1.栄養ケアの実施
- 2.衛生、安全管理の徹底
- 3.行事食、イベント食の実施

1、2、3については継続して行うことができた。

平成 29 年度

あけぼの苑介護福祉サービスセンター 事業報告

・基本方針に基づき、利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、適切な保健医療サービス及び福祉サービスが多様な事業者又は施設から、総合的かつ効率的に提供できるよう、ケアプラン（介護サービス計画）を作成することができた。

・利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、常に利用者や家族、各種サービスが提供されるように管理、指導すると共に、地域ケアにおけるコーディネーターとしての役割を果たすことができた。

・本人の心身の状況に合わせた福祉用具の選定や屋内の必要箇所に住宅改修を行うことで、安全で安心できる自宅での生活が送れるよう、また、福祉用具を活用することで自立した日常生活が送れるよう支援することができた。

・介護支援専門員に関する研修に多く参加する事で、一人ひとりのスキルアップを図った。

・地域包括支援センター、医療機関からの紹介及び各個人からの相談により新規利用者数は利用予測とほぼ変わりはないが、要介護 1 の利用者数が予測を大幅に下回った。要介護 4 の利用者数は予測を大幅に上回っているものの、全体数としては大きく下回った。

長期入院や施設入所（特養、グループホーム等）、死亡者が多かったことによるものと思われる。

平成29年度 居宅介護支援事業利用実績

◎要介護者月別給付管理数 ()は新規利用者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)
要介護 1	27 (3)	26	25	24	24 (2)	25 (2)	25 (1)	23 (1)	26 (2)	25 (1)	22	25 (2)	297 (14)
要介護 2	12	11	12	12	14	16 (1)	20 (2)	18	19 (1)	19 (1)	18 (1)	16	187 (6)
要介護 3	7	8 (1)	10 (2)	9	7	6	5 (1)	4	3	4	7 (1)	8 (2)	78 (7)
要介護 4	2	2	2	4 (1)	5	4	5	5	3	4 (1)	5	8 (1)	49 (3)
要介護 5	2	2	3	3	3	3	3	3	2	3	3	3	33
要介護者数 合計(人)	50 (3)	49 (1)	52 (2)	52 (1)	53 (2)	54 (3)	58 (4)	53 (1)	53 (3)	55 (3)	55 (2)	60 (5)	664 (30)

◎月平均利用者数 55.3 名

◎一人当たり担当者数 18.4 名

◎予防給付者数 ()は新規利用者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)
要支援 1	1	1	1	1	1	1	1	2 (1)	1	2	1	2 (1)	15 (2)
要支援 2	9 (1)	9	9	10	10 (1)	10 (1)	10	9	10 (1)	10	9	9 (1)	114 (5)
要支援者数 合計(人)	10 (1)	10	10	11	11 (1)	11 (1)	11	11 (1)	11 (1)	12	10	11 (2)	129 (7)

◎月平均利用者数 10.7 名

◎一人当たり担当者数 3.5 名

平成29年度事業報告書

グループホーム あけぼの

【管理者部門】

- * 運営推進会議の開催年6回（4/26 6/28 8/28 10/25 12/20 2/28）
- * 防災訓練実施（6/21 避難訓練 11/28 夜間想定通報訓練）他 8/6 と 9/16 に台風接近の為訓練を兼ねて、苑へ夜間避難実施した。
- * ご家族へのお便り及び状況報告を月1回発行できた。
- * 平成30年度の退所者は6名であった。1名は芦北の病院へ長期入院となり1名についてはホームで看取り介護に携わり最期は家族の見守る中で生涯を終えることができた。新規入居者は、要支援2が2名介護1が3名介護2が2名であった。

【計画作成担当部門・介護部門】

- * 担当者会議を開催し、サービス内容を説明し同意を行なった。月毎の評価の遅れや介護計画書作成の遅れもあった。
- * 本人・ご家族の要望を聞き、希望に沿った介護計画書の作成を行なった。
- * 自由を束縛することなく利用者中心のケアを心掛けた。
- * 研修等に積極的に参加し、専門的知識向上を図った。
- * 地域行事へ参加し、地域との交流を図った。

【行事報告】

- * 4月 花見・竹中地区ふれあい祭り
- * 5月 バラ園見学・端午の節句（行事食）
- * 6月 あじさい見学（ドライブ）
- * 7月 そうめん流し
- * 8月 ぶどう狩り
- * 9月 かかし見学・敬老会
- * 10月 コスモス見学・苑秋祭り
- * 11月 外部評価
- * 12月 忘年会・クリスマス会・もちつき
- * 1月 新年会・初詣
- * 2月 梅見学・節分（豆まき）
- * 3月 イチゴ狩り・雛祭り（行事食）
- * 入居者誕生月・誕生会

平成29年度 グループホームあけぼの 利用実績

利用定員 18 人		年間利用実人員 24 人					合計(人)
要介護度別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要支援2	
内	10	5	2	4	2	3	
訳	843	2400	1358	658	709	269	6237
稼働率		年間延人員(6237) ÷ 6570 =					94.9 %

家賃	年間延べ	214.5	ヶ月
光熱費	年間延べ	209.5	ヶ月

食事提供	朝食	昼食	夕食	合計(食数)
	6152	6131	6142	18425

平成29年度 行事・職員研修報告書

	特養行事	ユニット	グループホーム	施設管理	施設外研修	施設内研修	月例行事・その他
4月	花見 家族会総会	花見(児童公園) 山菜採りドライブ バーベキュー	花見(児童公園) 竹中地区春祭り	自家発電装置点検 電気設備点検 水質検査(浴槽)		各委員会より活動報告と計画 各部署の避難経路と訓練(安全班) (土砂災害、風水害、地震)	1 感染症・食中毒対策研修(全年2回) 2 身体拘束に関する研修(全年2回) 3 事故対策に関する研修(全年2回) 4 医療に関する教育・研修
5月	こいのぼり見学 バラ園見学 ISUIフェスティバル	運動会 こいのぼり見学 バラ園見学	端午の節句 バラ園見学	屋上排水口清掃 苑周囲草刈 浄化槽清掃 冷暖房フィルター清掃		1 感染症・食中毒研修(委員会) 3.事故状況報告(委員会) 5.認知症研修(3年未満・以上に分け) 基礎研修・実務者研修	5 認知症研修会 6 プライバシーに関する研修会 7 ターミナルケアに関する研修会 8 倫理及び法令遵守に関する研修
6月	運動会	運動会 あじさい見学		防災訓練(避難・通報) 苑周囲草刈 冷房切り替え	新任職員研修会3名	2.身体拘束研修(委員会) 9.非常災害時の研修	9 非常災害時における研修 10 従業員の施設サービス研修 11 マニュアルの見直し検討会議
7月	ソーメン流し 七夕	七夕 ドライブ	そーめん流し	苑内ワックス処理(7/16) 貯水槽清掃 循環浴槽配管洗浄 夜間通報・招集訓練	老人福祉施設職員 研究大会5名	衛生委員会(委員会) (職員の健康管理について)	各種委員会 ①労働衛生委員会(奇数月第4日曜日) ②医療的ケア対策委員会(4.7.10.1月第3日) ③感染対策委員会(4・9・11.3月)
8月		お盆のお寺参り ソーメン流し		窓ガラス拭き 苑周囲草刈 屋上排水口清掃		11.マニュアルの見直し検討会議 (各部署において) 腰痛予防(外部講師:ケアバーク)	④身体拘束廃止委員会(6・11・3月、随時) ⑤事故防止委員会(4・8・1月)第3本曜日 ⑥給食委員会(5・8・11・2月) ⑦広報委員会(4.10.1月発行)
9月	敬老会 案山子見学 ぶどう狩り	敬老会 ぶどう狩り 案山子見学 魚釣り・おはぎ作り	敬老会 ぶどう狩り 案山子見学	苑周囲草刈	喀痰吸引研修会2名	4.医療に関する研修(病院医) 7.ターミナルケア研修(江口・田中)	⑧環境美化委員会(4・7・10・12・3月第1木) ⑨地域貢献活動委員会(4.8.1.3月) ⑩研修委員会(4・10月) ⑪入所検討委員会(随時)
10月	故郷訪問 コスモス昼食会 秋祭り	バーベキュー コスモス見学 秋祭り 故郷訪問	コスモス見学 故郷訪問 秋祭り	冷暖房フィルター清掃 暖房切り替え 水質検査(浴槽) 水道水検査(厨房)	損食・落下に係る研修会 3名	1.食中毒・感染症研修(ノロウイルス インフルエンザ・感染委員会) 取組み・事例発表会 (特養・デイ・GH・ユニット)	⑫排泄委員会 毎月(特養) ⑬入浴委員会 毎月(特養) ⑭食事委員会 毎月(特養) ⑮接遇委員会 年4回(特養)
11月	ふれあい祭り見学 やきいも会	ふれあい祭り 焼き芋食べよう会 紅葉見学	ふれあい祭り 地域開放交流会	屋上排水口清掃 防災訓練(避難・通報)	看・介護職員研修会 2名	5.認知症研修(3年未満・以上に分け) 2.身体拘束研修(事例:委員会)	会議 ・運営会議(3月初旬) ・職員会議(毎月第4金曜日) ・ケア会議、モニタリング(特:毎月25日) ・ユニット会議、リーダー会議(毎月23日、5日) ・各ユニットミーティング
12月	忘年会&Xmas 門松作り 餅つき	忘年会・クリスマス 門松作り 餅つき	忘年会 クリスマス会 餅つき	大掃除・窓ガラス拭き	看取り研修会3名 アンカーマネジメント 研修会3名		・家族会総会 ・家族との懇談会(昼食会)毎月第2日曜日 ・誕生会 毎月第4日曜日 ・体重測定 毎月第2水曜日 (随時健康診断)
1月	初詣 新年会 どんどや	初詣 新年会 どんどや 鶴見学	初詣		熊本県老人福祉施設 研究大会5名		・入居者 8月(採血・胸部XP) 全職員 8月(胸部XP)夜勤者:2月 (腰痛検査) 介護職員8月・2月
2月	節分	節分 焼き芋会 梅見学	節分・鶴見学	屋上排水口清掃	介護者歯科技術研修会 普通救命講習会3名 介護報酬改定セミナー 3名	6.プライバシー研修(特養) 8.倫理及び法令遵守研修 3.事故事例検討(委員会)	
3月	ひな祭り	ひな祭り おはぎ作り 故郷訪問	ひな祭り	非常用放送設備点検 消防用設備点検	医療安全研修会2名	10.従業員の施設サービス研修(施設長) 各部署より方針・事業計画	グループホーム 運営推進会議(4.6.8.10.12.2月) 避難通報訓練(6月・11月)